



丸小だより

～ 実践目標 自分が輝く、みんなも輝く ～

横浜市立丸山台小学校 学校だより

No. 6

令和3年10月29日(金)

みごとに広がった2つの翼

校長 倉本 恵

分散登校明けの10月4日から、実質10日間の準備や練習期間を経て、「丸リンピック2021」を10月16日に開催しました。

行事の前に子どもたちがいい意味でそわそわしたりざわざわしたり、緊張と興奮を感じている様子を久しぶりに目の当たりにして、「そうそう、学校ってこういう雰囲気！」と忘れかけていた感覚を取り戻しました。

子どもたちも職員も、それはそれはものすごい勢いで知恵を働かせ協力し合い、運動会に代わる「運動を楽しむイベント」を見事に作り上げてくれたことに、校長として感無量です。(各学年の様子は中面をご覧ください)



そして、2学年ずつのブロック入れ替え制、籠森公園側の門から入場する一方通行制など、異例の状況でも保護者の方々がルールやマナーを守って参観してくださったことも、このイベントの成功につながっています。ご協力ありがとうございました。



校舎2階のデッキからは、本校「まちと共に歩む学校づくり懇話会」委員として、丸山台中学校 藤校長先生と丸山台保育園 梅本園長先生が、小学生の新たなイベントを見守ってくださっていました。



当日は途中小雨が降り出し、ヒヤッとする場面もありましたが、40周年運営委員会から寄贈のテントをお披露目することもでき、15日(金)の開会セレモニーから、19日(火)の閉会セレモニーまで、予定したすべての内容を無事に終えることができました。学校だより9月号に書いた「人生の逆風に向かう強い翼」と「人を思いやる優しい翼」の両方の翼が広がったすばらしい「丸リンピック2021」となったことを自負しています！



このイベントを大きく支えてくれたのが、6年生です。「自分が輝く みんなも輝く」の目標に向かい、実行委員・丸山台体操・用具・低学年サポート・放送・応援・リレーの係に分かれ、3つのブロックの運営や進行に取り組む姿は、さすが最高学年、頼もしかったです。

「丸リンピック2021」の興奮冷めやらぬ中、6年生は「赤城日光宿泊体験学習(7月実施予定でしたが、今月末に延期)」に向けて、すぐにシフトチェンジ。

「丸リンピック」は終了しましたが、これからもこの経験を活かして、前向きに進む子どもたちであってほしいです。

いろいろなことがコロナ禍以前の日常に戻りつつありますが、感染症拡大防止の措置は引き続きとりながら、「逆風でも、勇気を出して翼を広げることで、思わぬ場所に到達できる」ことを、子どもたちと一緒に形にしていきたいと思います。

11月には新1年生が初めて本校に来校する「就学時健診」があります。令和4年度へ向けて、1つ上の学年に進む翼を少しずつ広げていく秋です。